



高山西ロータリークラブ

No. 2354 例会 平成 26 年 6 月 13 日

クラブアッセンブリー

例会報告

第 2 6 3 0 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1 9 6 6 年 1 月 1 5 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
- 会長 山下 明
- 幹事 寺田 昌平
- 会報委員長 堀川 和士



山下 直哉

<会長の時間>

ナメクジから学ぼう

◎ナメクジほど、興味ある生き物はないし、ナメクジから学ばなければならぬことがたくさんあります。

・カタツムリは約 3 億年前、中生代の三畳紀、ナメクジは中生代のジュラ紀、そう恐竜の出現と同じ時期 2 億年前にカタツムリから独立したのです。カタツムリの殻を捨ててナメクジになり、海ではアンモナイトの殻を捨てて、イカやタコといった軟体動物が出現しました。

・殻は陸生貝類にとっては天敵から身を守る鎧の役割や外気、直射日光を防ぐなど危険な環境を遮断するシェルターのようなものです。この大事なものを捨てたのです。

・捨てた理由は、殻が付いていたのでは行動が更に鈍重になり生殖活動の妨げにもなり、殻というマイホームを大きくするためには食べ物から Ca を抽出しなければならぬ相当な手間もかかり、そのようなものから「自由になる」ことを選択したのではないかと推察されます。

・人間の世界では住む家を失った人を「ホームレス」といい、生活面での退化現象として捉えますが、軟体動物の世界では家である殻を捨てることを研究者たちは「ナメクジ化」と呼び進化の一つの形態と捉えています。

・潔く殻を捨て生命体をさらけ出しながら、ゆったりと我が道を歩き、地球のあちこちで自在に 2 億年も生きているナメクジはスゴイ！

◎ナメクジが生き延びたのはなぜか

・同時代に誕生した恐竜が絶滅したのはより大きく、より速く、より強いを目指したエネルギー多消費のライフスタイルが小惑星の衝突、地球全体の寒冷化という自然現象の激変に適応できず、絶滅に導いた。

・ナメクジは植物の葉を少しずつ食べるだけで生きられるエネルギー節約型のライフスタイル。動物界の中生代も今も弱者であるナメクジが生き延びられた最大の理由は、あのゆったりとした行動パターン、他の動物との競争上、弱点となるノンビリしたライフスタイルだったとのこと。更に夜行性というか夜な夜な徘徊する夜遊び(?)、直射日光で体内の水分蒸発を防ぎ、天敵が少ない夜間に食料確保。乾燥という大敵から身を守るため、皆と体を寄せ合って湿度を維持している協同作業などが理由に上げられています。

・激しい生存競争を爬虫類、哺乳類が繰り広げる中で我関せず上昇志向も下降志向もなく、互いに湿度を分かち合いながら同じ位置を守る、その姿勢が結果的に幾度となく地球を襲った生物の危機を乗り越えたのだろう。

◎しかしナメクジの世界にも在来種と外来種の静かなる勢力争い(?)が起こっているのです。



・在来種であるフタスジナメクジと、日本の侵略的外来種ワースト 100 に指定されていますチャコウラナメクジが、私達の知らない所で縄張り争いをしているのです。チャコウラナメクジは、戦後、米軍の物質輸送にまぎれて入り込んだとされ、米軍基地から周辺へ拡大し、現在では全国に生息地を広げているとのこと。チャコウラは新興住宅地のようなやや乾燥地帯に進出、フタスジもなかなかしぶとく庭木がうっそうと茂りジメジメしている場所を死守し、双方がうまく住み分けている状態とのこと。

<幹事報告>

◎ガバナーより

・韓国第 3600 地区年次大会交換交流派遣学生決定通知

日程 7 月 23 日(水)~
27 日(日)

飛騨高山高校 岡田 莉乃さん、切手 晴菜さん

◎高山市教育委員会より

・「高山市キャリア教育を考える会」出前講座 DVD

<受贈誌>

ロータリー米山記念奨学会(ハイライトよねやま 171)



<出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	40 名	11 名	51 名	51 名	100%
本日	35 名	—	35 名	51 名	68.63%

<本日のプログラム> クラブアッセンブリー

SAA 小田 博司

こんにちは、SAA 長 小田 博司です。2013-2014 年度も本日を含め後 2 回となりました。この 1 年間、SAA として 7 名で対応させていただきました。何とか各例会を乗り切ることができました。会員皆様のロータリアンとしての寛かさにお礼を申し上げます。会長、幹事始めクラブ奉仕委員会の皆様有難うございました。SAA 副長垂井さん、監督員 小林さん、中島さん、大村さん、長瀬さん、向井さん、お疲れさまでした。

この 1 年間で振り返りますと、反省点、課題事項が何点か有りますが、総じてよかったのではないかと、点数を付ければ 60 点



ロータリーを实践してみんなに豊かな人生を

例会報告

くらいかなと考えます。運営内容は、皆様既に見て、感じておられますので、皆様のご批評を受け、次期担当される皆様に委ねたいと思います。

最後に、1点だけお願いしておきたいと存じます。欠席する場合の事務局連絡です。例会当日午前10時までに連絡する。これを確実にお願いします。世界では食べ物を口にできない子供たちが沢山います。無駄を省きましょう。

出席・プログラム委員長

新田 敬義



平成25年9月6日の例会に中部運輸局岐阜陸運支局飛騨自動車検査登録事務所 榎本所長様に中部運輸局の観光部門での取り組み(昇龍道)および次世代自動車についての卓話を頂きました。

本日までの100%出席は16回でした。無届欠席についてニコニコで注意を喚起いたしました。副委員長ならびに委員の方の協力にお礼申し上げます。



会報委員長 堀川 和士

委員長：堀川 和士、副委員長：下屋 勝比古、委員：新田 敬義、菱川 正臣

① ゲストスピーカー及び会員の皆様の原稿は1年間、遅滞無く頂きありがとうございます。スムーズな会報を運営できましたことを感謝して

御礼申し上げます。

② 今年の2月14日の担当例会では、ゲストスピーカー住田さんの卓話お願いいたしました。

その後、会員に推薦させて頂き、無事会員として出席されている事を、大変嬉しく思います。

③ 会員をホームページのトップに掲載しておりますが、休会の会員を除く、会員全員の撮影も終了、最終の例会までに掲載させていただきます。

1年間ありがとうございました。

親睦活動・趣味の会委員長

堺 和信



基本方針は、「会員相互の親睦を第一の目的とし、楽しいロータリーとする」でした。

昨年8月10日に、恵の久江名子店にて「納涼ゆかた例会」を開催いたしました。ミュージックブックの4名のフルート奏者による生演奏を聴いていただきながら、生ビールと冷酒を飲んでいただき、楽しい時間を過ごしていただきました。ただ、参加人数が30名程で少し寂しい気がいたしました。今年の1月13日には「新年家族例会」を高山グリーンホテルで行い、参加者も70名とたくさんの方に参加をしていただき、余興をはじめとして大変もりあがり楽しい時間を過ごしていただきました。5月17日の「新緑例会」では、約30名の参加により位山ミニ登山を行いました。思っていた以上に急な斜面の登り降りでしたが、ケガをされることもなく全員無事に戻られてほっといたし

ました。その後の民宿甚左衛門においての懇親会では位山の歴史を聞きながら、皆さんと大変おいしいお酒を飲ませていただきました。

そのほかにも、月初めの例会において、「会員誕生日」「夫人誕生日」「結婚記念日」「出席表彰」「在籍周年記念表彰」の発表とともに、お祝いの品・記念品をお送りさせていただきました。

また、月ごとの交代で例会場の委員会席を担当し、例会ごとの交代でドアチェックの担当を委員会全員により行ってきましたが、時々担当当番者が忘れることがあり皆様にご迷惑をかけてしまいました。

1年間に3回の例会を通し、基本方針である会員相互の親睦ができたのではないかと思います。有難うございました。

ニコニコ委員長

内田 幸洋



目標金額を年間100万円と定めましたが、6月6日現在1,118,370円でクリアしています。ただしこれは出席表彰やファイン、ビジター等による喜捨等の総計です。純粋に投函におけるものは703,000円で1人当たり14,000円です。この金額に未達の会員は52会員中30名です。名あと本日を含め2例会ありますので、ぜひ達成を宜しくお願いします。

年度としての結果の出る7月第一例会には、会長・幹事、ニコニコ委員会を除いた会員の最終金額上位3名に記念品を贈り感謝いたします。

年度としての結果の出る7月第一例会には、会長・幹事、ニコニコ委員会を除いた会員の最終金額上位3名に記念品を贈り感謝いたします。

雑誌・広報委員長

遠藤 隆浩



活動としましては、毎月第一例会にロータリーの友の紹介をしました。前半には例年のように市民時報に三クラブ合同の特集号を出し、後半の担当例会は市民時報社の小鳥幸男会長にご講話をいただきました。一年間、ご協力ありがとうございました。

会員増強・職業分類・選考委員長

古橋 直彦



2630地区としては「クラブ会員数3%の純増を目標に」との事でした。

現在西クラブの会員数は50名ですので3%は1.5名です。多くの方に、お話を聞いて頂

き入会をうながしましたが残念ながら現在のところ住田さん1名にとどまっています。

魅力ある例会運営や、会員一人ひとりの「質」の向上がクラブの魅力になり退会防止につながると言われていまして、山下会長もクラブ運営、例会プログラム等相当気をつけて頂き一年間引っ張ってこられました。やはり数名の退会者が出るようです。次年度以降も、会員増強委員長に対し西クラブ会員の皆様から、特に若い会員さんから情報提供をお願いします。

また、以前からお願いしていました会員選考・職業分類委員会の会員増強から分離に関して承認頂きました。ありがとうございました。

ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を

例会報告

社会奉仕・ヘルス委員長

田中 正躬

皆様今日は、今年度の社会奉仕、ヘルス委員会委員長の、田中正躬です。メンバーは、副委員長に葛谷さん、委員に野戸さん、山下直哉さんの4人で取り組みました。

基本方針は、前年と同じでしたが、2回のソフトミニバレー大会に一チームを参加するのが精一杯でした。

担当例会のゲストスピーチは、9月13日日赤棚橋先生、11月15日杉山保健所長、12月13日日赤堀先生、にお願いしました。

ソフトミニバレー大会にご協力頂いた選手の方々、応援に駆けつけて頂いた方々有難う御座いました。



青少年育成委員長

伊藤 松寿

行った事業及び担当例会は、以下の通り、

①9月27日ゲスト杉江 功警察署長

「高山へ赴任しての雑感・管内の犯罪状況」

②3月7日ゲスト高山市中学校長会代表 朝日中学校長 長瀬 真人先生
「義務教育九ヶ年皆出席生徒表彰に感謝」

③5月30日ゲスト 社会福祉法人 清徳会 荒井 信一理事長
「前職、市役所と現在の職場を通して感じたこと」



ロータリー財団委員長

阪下 六代

当委員会が今年度初めて手付けた、ロータリー財団地区補助金を活用する未来の夢計画については、小森丈一未来の夢計画委員長を中心にプロジェクト名「町家を活用した地域コミュニティ再生・創生事業」を策定し、昨年12月1日に地区補助金申請書を提出しました。

本年に入り、地区委員会からの指導に基づき申請書を若干補正して再提出した結果、5月下旬に地区補助金が支給される旨の連絡を受けました。

来年度は、いよいよ地区補助金約50万円、当クラブの拠出金80万円、合計約130万円を活用した未来の夢計画「町家を活用した地域コミュニティ再生・創生事業」が実施されることとなります。

当委員会が当初計画又は目標としたものは、7件のうち「ベネファクター1名」、「ロータリアンクレジットカードの全員の取得」を除いて達成することができました。



<ニコニコボックス>

●山下 明さん

本日はクラブアッセンブリーです。各委員長さん発表よろしくお祈りします。

●寺田 昌平さん

本日と来週の例会はクラブアッセンブリーです。各委員長さん1年間ありがとうございました。2週に渡りよろしくお祈りいたします。感謝感謝!!

●会長エレクト 田中 武さん、副幹事 門前 庄次郎さん

いよいよ来年度スタートも間近になりました。先程の理事会報告にもありました様に来年度の陣容が少し変わります。それにより委員会構成も少し変更しましたのでよろしくお祈りします。

●内田 幸洋さん

今日のサッカーW杯の開幕に合わせて日本チームの公式ネクタイをして来ました。頑張れニッポン!!

●古橋 直彦さん

ニコニコ内田委員長との約束です。来週の出席がビミョウなので本日出しておきます。

●脇本 敏雄さん

遅刻しましたので。

●塚本 直人さん

本日と来週の例会を出張のため2週続けて欠席します。4週目の例会は休会ですので今年度はもう皆さんにお会いできません。山下会長、寺田幹事をはじめ沢山の方々にお世話になりました。直接御礼をお伝え出来ないのが残念ですが「ありがとうございました」。次年度の田中会長、門前幹事よろしくお祈りします。

●洞口 良一さん

今年度最後の6月の例会までは出席の予定でしたが、6月は出張や会社の会議等で欠席になりますので京御札の挨拶をさせていただきますと思います。西ロータリーへ入会させて頂き9年ほど在籍させて頂きましたが、一身上の都合にて6月末をもって退会させて頂くことになりました。色々な職業の方々とお話しして新交させて頂き今までにない経験も積ませて頂いたことに感謝を申し上げます。今後のロータリーの発展と隆盛を祈願し、御礼と退会の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を